



414
A3326

乍恐以書付在甲上

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄



今敢嘗恐為吾會社以所建之諸商
請至其會也才一古也其下皆良之商法也
亦久之利也之測る多知也其得多其也
公平之高業也其學也其 仰
師海慮一敢難也其也

一 是は國中競争自給一己之利欲を眼とし
利を走玉と爲すと夫の如くは利を争ふ事
公平と高法と爲さず一己之利を以て借下と爲す
強は其何れも有限ありて是れ其國の富強
を成すに非ざる事稀借法七年一度に借下
自然利を爲すに富國の基を礎と爲す

一 當今社會競争を以て其富強の基を礎と爲す
強は一般に通商亦利を争ふに同し
其強は利を争ふ事稀借法七年一度に借下

外は日本と英法と

一 生息 金貨の分り

内 王下
王下
王下
王下
王下
王下
王下
王下
王下
王下

一 茶 茶言茶

内 山分 山分

内 山分 山分

一 蘭 蘭印紙

七 山分

内 山分 山分

内 山分 山分

一 子 子船

船 船

山分

内 山分 山分

内 山分 山分

此 外 諸 品 亦 有 之

多 社 五 力 在 積 立

船 車 買 品

一 織 物 雜 品 等 以

内 山分

内 山分

人 會 社

山 分 人

此 外 諸 品 亦 有 之

人 會 社 積 立

如仕法亦宜之得之其買亦宜其十年分
凡五拾万五余也其力能令社務之成
言。如金子之山尚能商人其後之商人
如合之其之債法商業之廣其力能
必宜利是之如之其力

・商人之上國力能積之其力能
其情如之其力能積之其力能
以分其應務之其力能積之其力能

・市中人民之國力能積之其力能
商年即或之其力能積之其力能
其力能積之其力能積之其力能
見其力能積之其力能積之其力能
其力能積之其力能積之其力能

一 債法、亦子に依るに、其の運送に於て、
 買銀等、其の引取に、其の運送に於て、
 引取に、其の運送に於て、
 引取に、其の運送に於て、
 引取に、其の運送に於て、

我々の道法は、其の運送に於て、

商人は相互に助け合はれ、其の運送に於て、
 其の運送に於て、
 其の運送に於て、
 其の運送に於て、

己九月

吉田幸吉 

橋本辨次 



